

令和 6 年度
事業報告(案)

社会福祉法人 白老宏友会
指定障がい福祉サービス 愛泉園
(生活介護事業)

1. 総 括

3年に一度の報酬改定を迎え、生活介護事業において初となる利用時間に連動する単価の設定と6時間以上7時間未満の利用者を0.75人で換算する方式となりました。結果的に、愛泉園において報酬単価は約0.5%程度の落ち込みになりましたが、人員配置体制加算2:1を受けることにつながり、支援体制の充足に加え、報酬額は前年度に対し117%と増額となりました。その結果、移転建て替えに向けた資金として3,000万円を積み立てることができました。

移転建て替えに向けた調査では、建築資材等の高騰を受け従来の建設方法では2億円をはるかに超える状況が見込まれることから、プレハブ工法等についても一つの妥協点となる事がわかりました。今後、愛泉園のみならず法人事業全体の方向性も確認しながら利用者にとって地域にとって価値ある事業空間となる様、準備研鑽を深めたいと考えています。

利用者支援におきましては、基本的な感染防止を適宜行いながら平常運営に近い状況で過ごすことができました。利用者が待ちかねた外出行事の実施も段階的に緩和しながらではありますが滞りなく行うことができました。時折、コロナ感染者が単発的には出る状況には変わりませんが、GHとの協力も含め集団感染の防止ができたことは幸いと感じております。引き続き、感染症についての職員教育と法人内の連携を行っていきます。

創作や軽作業を含む活動面については、第2回目の「カシス狩り」を実施し約100名の地域の方に来場いただき、少しずつ「カシス」の認知度が向上していると思われます。白老町70周年記念植樹においても、「カシス」の植樹が行われました。今後地域の特産品開発につながる様事業の進捗をはかっていきたいと考えています。また、アイヌ文様事業やご近所野菜市への参加、近隣事業所からの下請け事業も取り入れ、利用者個々の障害特性に合わせた活動ができたこと受け止めております。その成果を、工賃還元は月平均1名1万円程度の支給や忘年会の開催など楽しみも増しております。

設備整備関係では、建物設備の老朽化によりボイラーを含むポンプ等の改修、浄化槽のエア設備の補修、作業棟屋根の改修や塗り替え等を実施し極力経費を掛けずに現状機能の維持に努めております。前年度導入した太陽光発電設備は月額電気料金4万円程度の削減につながっています。

今後の課題として、愛泉園移転建設後の大規模自然災害発生時に備え、既存の愛泉園建物群をどのように精査していくのが望ましいかを検討していきたいと考えております。

2. 各種活動報告

〈薬草加工作業・軽作業〉

「よもぎのお風呂」については、総数約**5,750**個、総額**317,809**円(前年比87.6%)の売り上げがありました。定期購入の個人売り上げや大口取引先の宿泊施設への納品が継続されております。

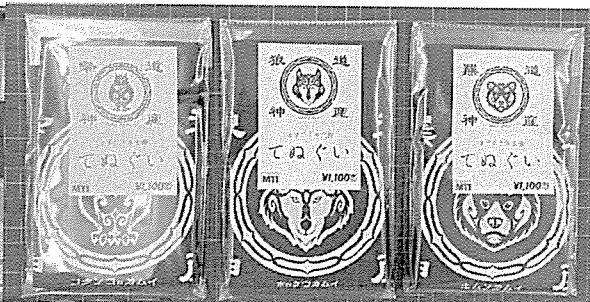
委託業務である新聞たたみの作業については、委託先の規模縮小により作業量も大幅に縮小され年間売上**18,040**円の工賃財源になりました。それに代わる作業として昨年度試験的に行った「しいたけの軸切り」作業は、利用者のペースで安定的に行うことができ軽作業として定着、そのため今年度は**505,834**円の売り上げがありました。

文様事業含む「軽作業」では新製品の開発を進め、ラインナップの刷新を進めました。国立アイヌ民族博物館(ウポポイ)での販売も順調に推移し昨年並みとなりました。「ななかまどイレンカ」と「ポロトミントラ」への商品の供給や、高等養護学校などからの特注品の製作にも対応しました。利用者の活動と工賃財源の確保に取り組んだ結果、ななかまどイレンカ単体の売り上げは**4,189,376**円(前年比94.3%)、白老観光協会運営の「ポロトミントラ」では**777,400**円(前年比129%)の売り上げとなっています。町内の宿泊施設等

2か所に依頼して設置しているカプセルトイ（ガチャガチャ）の売り上げが **106,500 円** (前年比 106. 6%) を計上し、**7,587,982 円**。その他、単発の受注生産を含んだ生産活動全体の売上額は総額 **9,132,349 円** を計上しました。約 20% 弱の減少が見られましたが、イレンカはほぼ横ばい、観光協会の「ミンタラ」では道外でのイベント販売が順調であるとの担当者お話をいただき、29% 程度の増収となりました。



【愛泉園の“枝豆”収穫】



【文様事業：新製品開発】



【最新機器での製造】

〈療育活動〉

本人との関係性の構築や障がい特性への理解を深めることを優先し、健康面、保清に配慮して、快適な日中生活を送るための支援を行いました。創作活動では、季節ごとの飾り付けなど、楽しみながら本人の意欲を高めるよう努めました。敷地内をウォーキング、野菜や果物の収穫、室内でも運動ができるようにマシンを使用し個々の特性に応じた支援内容を提供して、活動的に過ごすための支援を行いました。状態が安定的でない利用者に対しては、心理的なサポートを心掛けて、家族やグループホームとの連携による情報の共有を図り助言や支援を行いました。また、季節に沿った行事や各種活動を行う中で、仲間達と喜びを共有してもらえるよう努めました。



【忘年会】



【新年会】



【春季アイセンピック】

〈農耕作業〉

電気柵の効果もあり「シャインマスカット」「枝豆」、他の野菜など害獣被害も少なく沢山の实を付け利用者のおやつや、ご近所野菜市での販売につなげることができました。収穫された野菜や果樹は共生型事業所における「ご近所野菜市」、「ななかまど」、「みらいエジェラート工房ミナピエノ」で **692,158 円**、利用者実習経費が **416,500 円**、合計が **1,108,658 円** の売上げがありました。一部は給食の食材として、また、

行事等でも使用することで、利用者に新鮮な野菜の提供を可能にし、さらに栽培から消費までを一貫して体験したことが、利用者の笑顔につながったことと思います。また、カシスの挿し木による作付面積を拡張し、近い将来愛泉園利用者の資産となるよう育てています。重度の利用者でも活動に参加できる農作業への研鑽を進めております。

(生産実績) 園内耕地 スティックブロッコリー、キュウリ、ゴーヤ、枝豆、じゃがいも、秋田フキ
ピーマン、サニーレタス、トマト、空心菜、プラム、シャインマスカット
カシス、栗

〈給食作業〉

給食提供に係る補助業務を行うことで就労意識や本人の自己実現に向けた支援を行いました。仕事に関わることを継続することで本人の意識改革や自分が必要とされているという自尊心を大きく育てることに寄与できたものと思われる。

3. 作業工賃

活動内容や貢献度によって日額 300 円、350 円、450 円、550 円の工賃及び賞与を支給し、25 名の利用者に対して総額 3,126,880 円 (1 人平均年 125,075 円) を還元できました。

4. 職員研修

愛泉園敷地内に設置された楽天モバイルの電波塔の本格稼働により、オンライン環境が整ったことでそれらにも対応することができ、積極的に参加し、職員個々の専門性と支援の質向上を図りました。

5. 余暇活動支援

利用者の楽しみのために各種余暇活動の充足を目指し、実施しました。主な取り組みは、月例行事として本人の誕生日にはお菓子を用意し、皆でお祝いを行いました。年間行事では、新年会、節分、バレンタインデー、ひな祭り、ハロウィーンパーティなど季節的な催しの他に、秋と早春にはミニ運動会的な「アイセンピック」を実施。日中活動においては「クリスマスリースづくり」や「かまくらづくり」など、日常生活とは異なった各種体験の機会を提供することで、心身のリフレッシュ効果を狙いつつ、思い出に残るような行事を行いました。

その他の屋内外の行事として、製菓活動・ゲーム的要素を取り入れた軽運動、近郊への日帰り外出、大画面による映画鑑賞会などを実施し、余暇支援を充実させています。



【創作活動】

【クリスマスリースづくり】

【かまくらづくり】

6. 自治会（ベストフレンズ）活動の支援

新年会や忘年会、誕生会などの司会進行などは利用者自治会が主体的に実施できるよう支援に勤めた。

7. 事故防止策および事故対応策

緊急時の連絡網として[LINE]での情報交換を日頃から活用し、緊急時に対応できるよう努めてきました。また、事故防止のためのヒアリハット案件を毎月探し出し、職員へ周知しながら事故防止への意識を高めるとともに、他事業所へも運営会議を通じて周知してきました。

8. なんでも相談（苦情解決）支援

本年度においては、なんでも相談受け窓口に寄せられたものはありませんでしたが、ご家族より支援に対する要望や相談はあり都度話し合いを実施し利用者支援に生かしております。

9. 保健医療支援

健康診断を行い、利用者の健康管理、維持に係る支援を行なった。また、毎日のバイタルチェックや表情などの観察をして、異変があればグループホームや家庭へ連絡をして必要な対応を行い、事業所での様子などケース会議等で情報の共有化を図った。インフルエンザ予防接種の実施、新型コロナウイルス予防接種の2度実施、感染防止強化による手指の消毒、加湿、換気、空気清浄などを重点的に実施しました。また、園内の手すりやドアノブの消毒、公用車内の消毒を習慣化し、感染症予防を行っています。てんかん発作を有する利用者については、発作の記録表をもとに家族へ報告を行い、医療対応の参考となるように配慮を行っております。

3月に、新型コロナ感染拡大の兆しがあったため、愛泉園の通所を一日停止し、拡大防止に努めました。幸い、新型コロナワクチン予防接種による抗体の獲得やウィルスの弱毒化もあり、感染は大きく広がらず、感染者はみな軽症で経過しました。

10. 管理業務

予算の適正な執行と経費節減に心掛けました。障害支援区分の変更、例年並みの利用率の維持ができています。職員会議、支援会議、ケース会議等の会議の開催の他、事務部会・運営会議に参加。また、外部の会計事務所の監査を受けることで、会計の透明性を図りました。消防設備点検、浄化槽点検・修理を行い、安全への配慮、設備の維持を行いました。災害を想定した(地震、火災)避難訓練、不審者の侵入を想定した防犯訓練も行っています。その他、ボイラーの一部改修、浄化槽の修繕、老朽化した訓練棟の屋根の改修、木工棟屋根の塗装、製氷機入れ替え、大型テレビの入れ替えなど現状維持と環境構築を実施しています。



【作業棟屋根補修】

【大型テレビ設置】

【製氷機設置】